

「在宅における認知症高齢者への支援事例に関するアンケート調査」へのご協力のお願い

各位

平成 28 年 6 月

研究代表 三上 章允 中部学院大学 看護リハビリテーション学部 教授
研究担当者 新井 康友 中部学院大学 人間福祉学部 准教授

初夏の候 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

厚生労働省の推計によると、2025 年には認知症高齢者は 700 万人になり、軽度認知障害者 400 万人を加えると、国民の 10 人に 1 人は認知症になります。そのため、今後増加する認知症高齢者への対応は重要な課題です。この調査は在宅における認知症高齢者への支援事例に関する調査を行い、今後地域で認知症高齢者が生活し続けるための支援のあり方を検討するための基礎的資料とすることを目的としています。お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査にご協力頂きますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

この調査は、平成 28 年 5 月時点での各務原市内のすべての地域包括支援センターと居宅介護支援事業者を対象にお送りしております。ご回答者は地域包括支援センター、または居宅介護支援事業所に所属するすべての職員を対象にしています。今回の調査で得られたデータは、学会発表、論文等のための資料とする予定です。ご回答いただいた内容は数的に保管・処理されるため、個人情報や事業所等の情報が漏えいしたり、特定されたりすることは一切ございません。本研究は、中部学院大学における研究倫理規定に基づき行われています。中部学院大学の研究倫理規定については、中部学院大学 総合研究センターホームページ (<http://www.chubu-gu.ac.jp/organization/center/souken/index.html>) でご確認ください。

質問紙は A3 サイズ 1 ページあります。ご回答は、直接質問紙にご記入ください。なお、ご回答を終えられたのちは、事業所ごとに取りまとめさせていただきます。同封の返信用封筒（切手は不要です）にて平成 28 年 6 月 30 日までに投函していただきますようお願い致します。なお、ご返送をもって、この研究の目的および方法にご同意頂いたものとさせていただきます。また、ご不明な点などございましたら、下記問い合わせ先にお気軽にお尋ねください。

また、同封の「認知症ケアに関するアンケート調査」用紙は、平成 28 年 1 月に実施した調査で使用したものです。1 月の調査では、居宅介護支援事業所にはお送りしていませんでしたので、今回、同封させていただきました。お忙しい中、まことに恐縮ですが、このアンケートにもご回答いただければ幸いです。回答いただいた後は、「在宅における認知症高齢者への支援事例に関するアンケート調査」と一緒に返信用封筒にて平成 28 年 6 月 30 日までに投函していただきますようお願い致します。なお、1 月の調査の際、送付先施設・事業所と同一法人に所属される方で既にご回答いただいた方がおられるかもしれません。その場合は、ご容赦ください。

- (1) 研究参加者の人権、研究倫理についての問い合わせ先
〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地 中部学院大学 総合研究センター
TEL:0575-24-2238 FAX:0575-29-3000 電子メール:cgrd@chubu-gu.ac.jp
- (2) 研究全般に関する問い合わせ先
〒501-3933 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地 中部学院大学 (TEL:0575-24-2211 代表)
中部学院大学 人間福祉学部 准教授 新井康友(yarai@chubu-gu.ac.jp)